

第 32 回全国川サミット in 旭川 共同宣言

石狩川は、その源を北海道の屋根大雪山系に発し、水田地帯の広がる上川盆地へ入り、支川を合わせながら旭川市街部を貫流し、石狩平野を流下して日本海に注いでおり、その恵みは、北海道の開拓を支え、今なお、水辺空間の活用により新たな価値を与え続けてくれる母なる川です。

「第 32 回全国川サミット in 旭川」は、市街地に石狩川水系を抱く自然豊かな北海道の拠点都市である旭川市を会場として「川と共に生きる～かわとまちづくり～」をテーマに開催しました。

今も昔も、流域に住む人々に恵みをもたらし続ける川の大切さを再認識するとともに、「かわ」と「まち」が一体となり、お互いに活かしながら深化しつづけることを誓い、ここに宣言します。

- わたしたちは、先人が築いた、恵みをもたらす川の歴史や文化を守り、次世代へ引き継いでいきます。
- わたしたちは、災害から命や大切なものを守るため、防災・減災への意識を高め、災害に強いまちづくりに取り組みます。
- わたしたちは、川とのふれあいを通して、ひとりひとりが川に興味を持ち、大切に守ることで、川を愛する豊かな心を育みます。
- わたしたちは、川と共存した美しいまちなみと、多種多様な生き物が生息する豊かな自然環境の保全に努めます。
- わたしたちは、人と人のつながりを大切にし、自治体の境を越えて、川に関わる交流の輪を広げます。

令和 6 年 10 月 19 日

第 32 回全国川サミット in 旭川 参加者一同